



～はじめに～

滋賀県では、県民誰もがあらゆるライフステージにおいて「持ちうる能力を活かし、それぞれの地域で自分らしくいきいきと暮らせること」を目指しており、それに必要なリハビリテーションを適切に行うことができる環境の整備を目指しています。近年リハビリテーションのひとつとして注目が高まっている農作業は、障害や病のある人びとの“からだ”や“こころ”を回復し、生活の質を向上させることに効果があるといわれており<sup>1) 2)</sup>、レクリエーション活動や治療、地域生活へスムーズに移行する手段として活用されています。

そこで今回、医療機関や介護施設の利用者が、農作業の様々な活動を通して、それぞれの生活にどのような彩りをつけられているのか。また、農作業を活用している医療機関や介護施設がその地域にどのような影響を及ぼしているのか。滋賀県内の医療機関や介護施設などに話をお聞きました。実施状況の調査結果をはじめ、農作業に取り組まれている施設の事例やその課題などを取りまとめているので、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

1) 藤森文也: 通所にて畑作業を行なうことで、自宅での営農活動を再開し、住民交流まで至った事例 中伊豆リハビリテーションセンター学術雑誌1巻1号 p21-24(2018).  
 2) 多田 敬子: 農村地域の在宅高齢者のQOLとADL身体機能及び社会生活との関連 日本地域看護学会誌3巻1号 p93-96 2001



# 農作業活用の調査結果

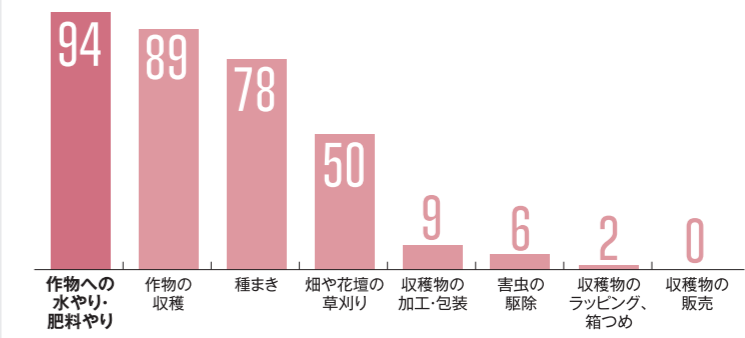


【対象】: 滋賀県内の回復期・療養病床・精神科病床を有する病院、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、訪問リハビリテーション事業所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 合計637か所 【方法】: アンケート調査法 【期間】: 令和元年8月5日～8月28日 【回答数(率)】: 224か所(35.2%)

Q.1 現在利用者・患者に対し“農作業”を活用していますか?



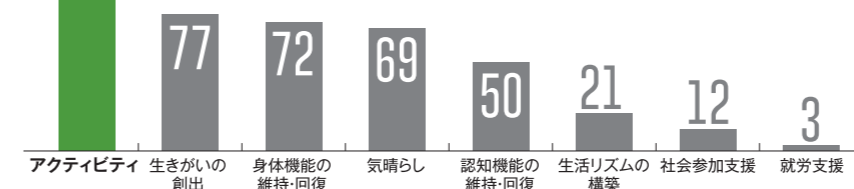
Q.2 利用者・患者はどのような農作業をしていますか? (複数回答)



※その他、調理、土起こし、生け花、農機具の買い物、盆栽、計画立案



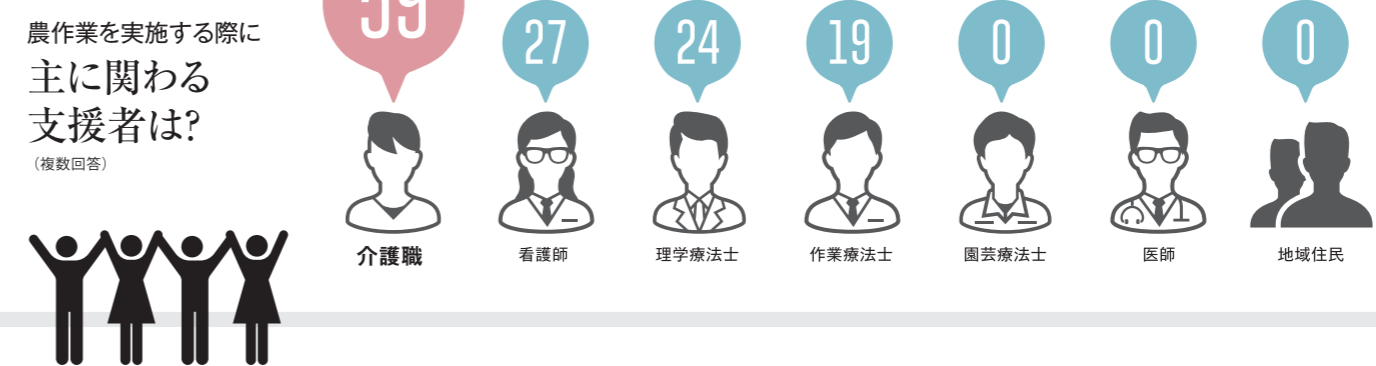
Q.3 農作業を実施する目的は? (複数回答)



Q.4 利用者・患者に対し、農作業の対価を支払っていますか?



Q.5 農作業を実施する際に主に关わる支援者は? (複数回答)



Q.6 農作業に関わるスタッフ数は?

